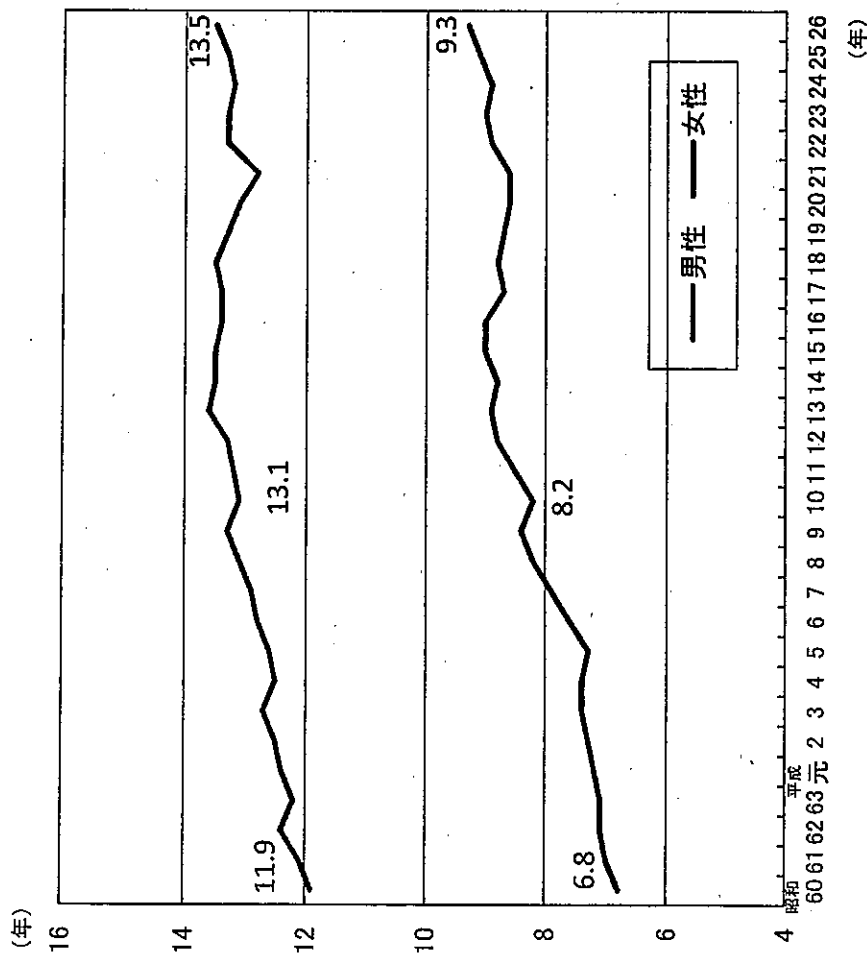


勤続年数

○ 女性一般労働者の継続就業は進んでいるが、平均勤続年数は男性よりいまだ短い(平成26年の平均勤続年数は男性13.5年に対して女性9.3年)。

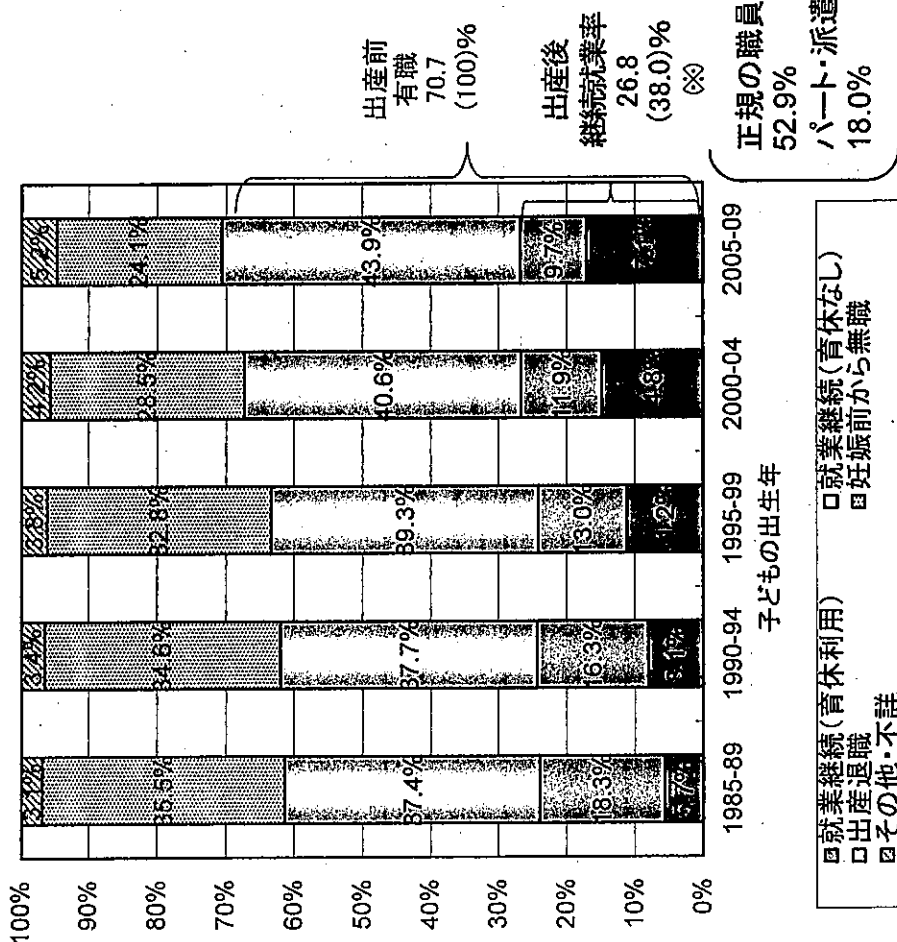
一般労働者の平均勤続年数の推移



現在の継続勤務年数の女性／男性比
 $= 9.3 / 13.5 \times 100 = 68.9\%$

継続就業の状況

○ 約6割の女性が第1子出産を機に退職している。



現在の女性(正規+非正規)の出産後継続就業率
=38.0%
→2020年までに55.0%に引き上げる(政府目標)

※「②継続就業」に関する基準値(実績値)案の1つである「10年目前後(9～11年目)の残存率」については、新規学卒採用者かつ10年目前後の継続就業であることから、「正規の職員」(52.9%)について検討。

※「正規の職員」の現状値から、政府目標を達成する(全体(「正規の職員」「パート・派遣」)の継続就業率が55%となる)水準を推計すると以下のとおり。

$$52.9 \times 55.0 / 38.0 = 76.7(\%)$$

(資料出所)国立社会保障・人口問題研究所
「第14回出生動向基本調査(夫婦調査)」

(※)()内は出産前有職者を100として、出産後の継続就業者の割合を算出